

外来化学療法部

■ スタッフ

部長 齋藤 佳菜子
副部長 都丸 敦史
 北嶋 貴仁
看護師 小林やよい、石井美紀
薬剤師（主任） 世古口典子/石橋美紀、山田真帆

■ 診療科の特色・診療対象疾患

1. 外来化学療法部とは

近年、がんに対する薬物療法は、目覚ましい進歩を遂げ、外科手術、放射線治療、内視鏡的治療、IVR 的治療とともに重要な位置を占めています。様々な腫瘍で薬物療法が実施されていますが、その多くが、生活の質（Quality of Life : QOL）の観点から外来治療として実施されています。このような背景から、2015年5月に開設された新外来棟では、外来化学療法部は治療ユニットを34に増床し、増加する外来治療に適切に対応できるよう体制整備を行いました。

2. 主な診療対象疾患

がん薬物療法を専門とするスタッフ（医師、看護師、薬剤師）のもと、関係する診療科と緊密に連携して治療を行っています。

標準的治療のほか、新規治療開発のための臨床試験、治験なども受け入れております。

主な対象疾患は、治療・領域別に分けますと下記のように分類されます。

- 固形腫瘍（肺癌、乳癌、消化管腫瘍、肝癌、胆道癌、膵癌、婦人科癌、泌尿器癌など）に対する化学療法、分子標的治療、免疫療法
- 悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など造血器腫瘍に対する薬物療法
- 小児がんに対する薬物療法
- 炎症性腸疾患・リウマチに対する薬物療法

■ 診療体制と実績

診療体制が整備された2016年以降は、地域がん拠点病院の一部門として、より高度で専門的な役割を果たせるよう、新たな取り組みを開始しました。

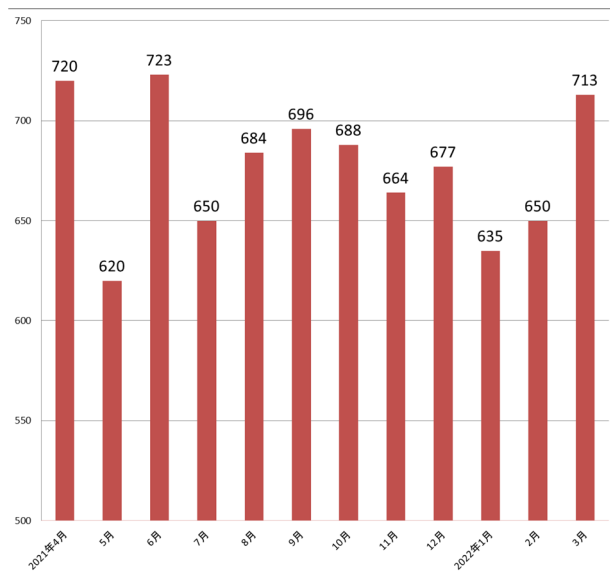
臨床試験・治験の外来治療の体制整備もその一つになります。治験などの治療においては、通常治療と異なり、治療中の厳密なバイタルのモニターや薬物動態の採血を要する場合があります。このような要望

に対応するため、治験専用ベット・指示簿等の整備、治験管理センターのスタッフとの連携を強化しています。

2021年4月から2022年3月までの診療実績を以下に提示します。

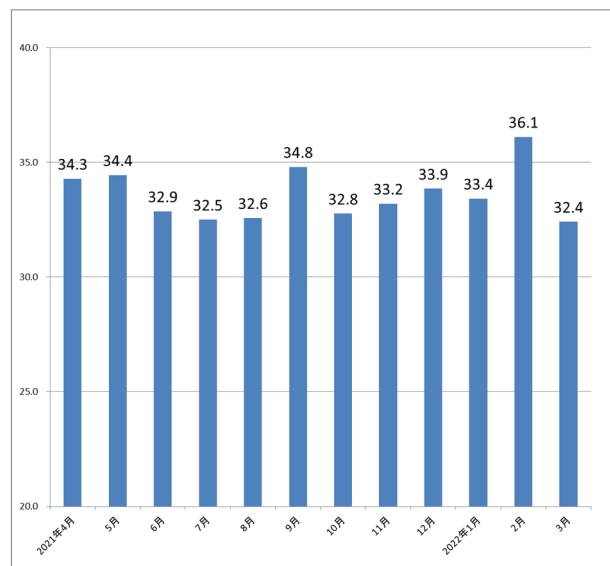
- 月別の治療実施件数 平均 676 件（前年比+32 件）

(1) 外来化学療法加算月別件数(2021年4月~2022年3月)



- 1日の平均件数 33.6 件（前年比+1.8 件）

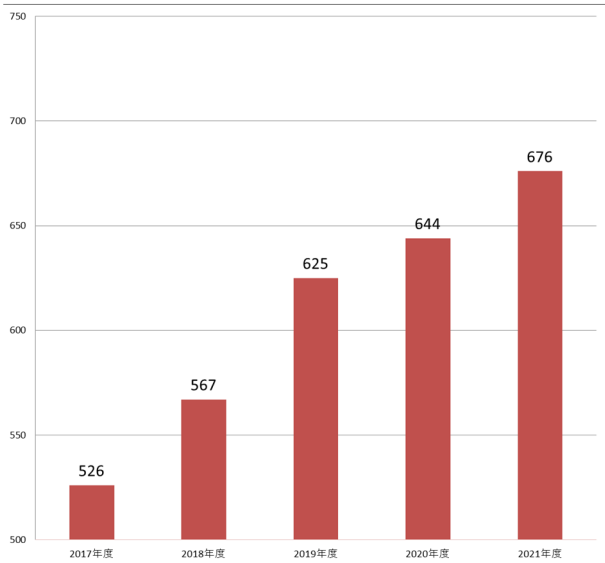
(2) 1日平均月別件数(2021年4月~2022年3月)



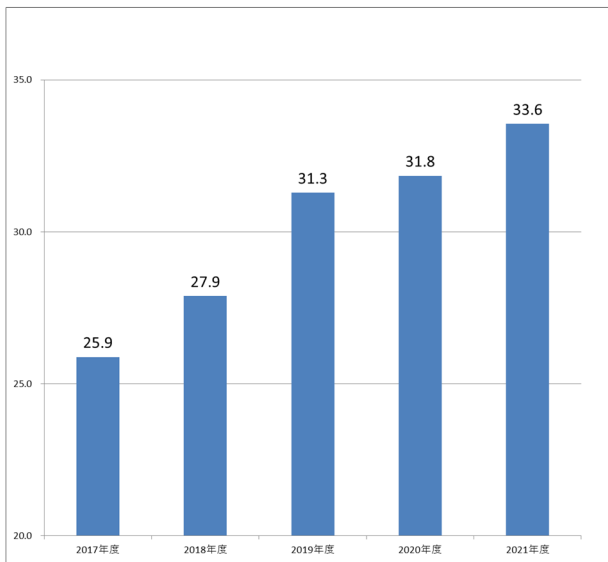
新規薬剤の増加や薬剤の適応拡大に伴い、外来化学療法加算の月別件数、1日平均件数は年々増加しており、2021年度は過去5年間でもっとも高い数値となりました。

【参考】過去5年間の外来化学療法加算件数の推移

(1) 外来化学療法加算 年間平均 年度別 件数(2017年4月~2022年3月)

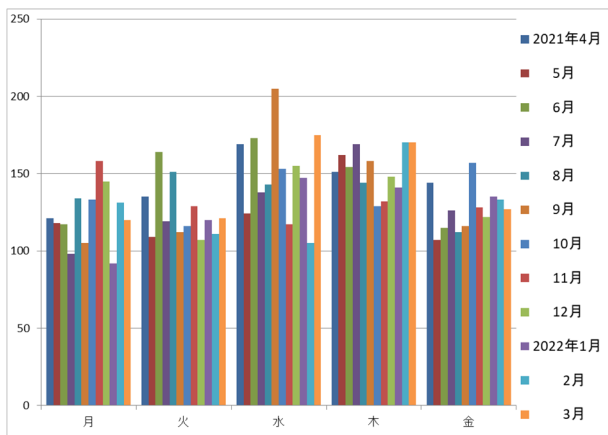


(2) 1日平均 年度別 件数(2017年4月~2022年3月)



● 曜日別実施数

水曜日、木曜日の件数が多い傾向があります。



● 診療科別の実施件数

腫瘍内科、肝胆膵外科、消化管外科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、腎泌尿器科の診療科において高い実施件数となっております。

また、関節リウマチや炎症性腸疾患の治療を担当する膠原病内科、整形外科、消化器内科の実施件数も増加しつつあります。

(5) 診療科別月別件数(2021年4月~2022年3月)

診療科名	脳内	整形	産婦	腎臓	小児	耳鼻	皮膚	脳外	消化器	呼吸	腎内	血内	腫内	消化	肝胆膵	小児外	放射	リウマ	産科	合計
2021年4月	2	17	29	46	1	2	0	3	70	48	0	67	200	96	120	2	0	17	0	720
5月	4	17	32	34	0	1	1	5	59	32	0	41	183	77	114	2	0	18	0	620
6月	4	16	31	32	2	4	1	5	63	43	0	47	257	80	122	1	0	15	0	723
7月	6	16	26	33	3	6	1	6	55	41	0	21	216	73	124	2	0	21	0	650
8月	3	19	26	33	2	3	0	5	63	39	0	39	229	86	127	1	0	10	0	684
9月	5	25	22	31	0	5	2	3	50	55	5	34	209	100	130	1	0	19	0	696
10月	7	24	21	32	1	5	0	4	59	44	3	30	227	90	123	1	0	17	0	688
11月	3	21	24	35	0	7	0	3	45	51	1	32	204	90	133	0	0	15	0	664
12月	4	22	36	33	0	5	2	2	54	50	1	33	200	93	123	2	0	17	0	677
2022年1月	6	19	32	29	0	7	0	3	52	47	1	36	176	90	122	0	0	15	0	635
2月	3	14	28	29	3	6	1	2	53	48	1	37	194	87	131	0	0	13	0	650
3月	3	18	28	34	0	7	1	3	71	60	1	46	202	95	129	0	0	15	0	713

【参考】診療科別年間件数

(3) 診療科別年間件数(2017年4月~2022年3月)

診療科名	脳内	整形	産婦	腎臓	小児	耳鼻	皮膚	脳外	消化器	呼吸	腎内	血内	腫内	消化	肝胆膵	小児外	放射	リウマ	産科	合計
2017年度	184	321	479	79	36	10	47	537	605	30	422	1701	826	981	51	4	3			6316
2018年度	10	190	292	614	72	115	1	53	490	642	29	387	1717	1018	1093	49	0	25	7	6904
2019年度	12	180	447	576	45	160	4	37	479	652	2	454	1978	1062	1292	50	0	81	0	7509
2020年度	15	183	357	483	32	76	3	58	630	508	1	565	2189	1022	1393	25	3	196	0	7739
2021年度	50	228	335	401	12	58	9	44	694	558	13	462	2497	1057	1498	12	0	192	0	8120

● 経口抗がん薬サポートチーム

2020年度から「経口抗がん薬サポートチーム」の運用を本格的に開始しました。具体的な診療内容は、経口抗がん薬特有の副作用や日々のケアの注意点などを薬剤師、看護師が説明し、患者さんによっては内服中の副作用モニタリングも行います。また高額な分子標的治療薬についてはMSWの介入により治療費に関するサポートも行っています。毎日、午後2時から一人30分で最大4名まで対応できるようにしています。2021年度はサポート件数を大幅に増やすことができました。

診療実績

2020年度の経口サポート 27件

2021年度の経口サポート 51件

■ 臨床研究等の実績

● がん薬物療法セミナー

複雑化するがん治療において、副作用管理はこれまでになく重視されています。そこで、支持療法に関する最新の情報を共有し、入院・外来治療のいずれにおいても質の高いケアが提供できるよう外来化学療法部主催(後援:三重大学がんセンター)でがん薬物療法セミナーを2019年度から実施しています。コロナ禍の影響で2020年度は中断していましたが、2021年度はようやく開催することができました。

テーマは近年、非常に需要が高まっている腫瘍循環器に焦点を当て、2名の先生によるご講演を賜りました。

第10回

外来化学療法セミナー

2021年7月30日(金) 18:00~19:00

外来棟5Fホール

第1部 18:00~18:30
司会 三重大学医学部附属病院 がんセンター助教 石原 幹也 先生

腎癌に対してイピリムマブ・ニボルマブ
投与後急性心筋炎を生じた1例

三重大学医学部医学系研究科臨床医学系講座 腎泌尿器外科学
助教 舛井 覚 先生

第2部 18:30~19:00
司会 三重大学医学部附属病院 腫瘍内科 講師(兼) 外来化学療法室 部長
齋藤佳菜子 先生

薬剤性心筋症の診断と治療
ー最近の動向とガイドライン

三重大学医学部医学系研究科臨床医学系講座 循環器・腎臓内科学
講師 中森 史朗 先生

閉会のあいさつ
三重大学医学部附属病院がんセンター長 水野聡朗 先生

お問い合わせ 外来化学療法部・がんセンター

コロナ禍ではありましたが、40名を超える方々にご参加いただきました。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/> (ホームページ)